

(イ) 検証授業Ⅱ

情報の活用と情報モラル (第2時/全3時間)

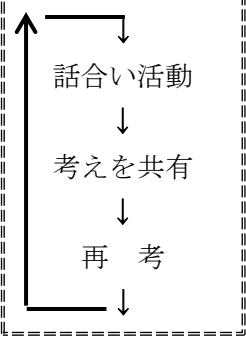
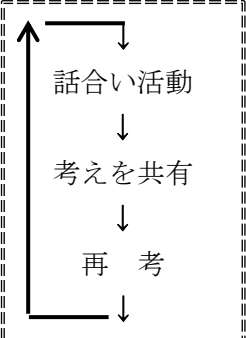
本時の目標

- ・著作権について関心をもち、意欲的に話し合い活動に参加できるようにする。
- ・話し合い活動を通し、身近に知的財産権があることに気づき、ICT機器の発達によって問題が増えていることについて表現している。

本時の展開

評価：B…「おおむね満足できる」状況，A…「十分満足できる」状況

学習活動	時	指導上の留意点及び支援の工夫	評価規準【 】と方法（ ）
1 前時の学習を振り返り，本時の学習内容を知る。	7分	・前時に学習した概要を説明し，「情報社会の倫理」の内容であったことを押さえる。 ・本時は「法の理解と順守」の内容であることを説明する。	
2 著作権の内容について学ぶ。 ・ワークシートを記入する。	35分	・「著作権」という言葉を聞いたことがあるか発問する。 ・「聞いたことがある」と答えた数名に著作権がどういった内容のものか質問する。 [予想される意見] ・聞いたことはあるが内容までは知らない。 ・広辞苑での解説文を表示する。 ・著作権に付随する，著作者人格権，著作財産権を簡単に説明する。 ・著作者人格権：勝手に改変されない権利 ・著作財産権：著作物から発生する利益を受ける権利 ・中国で著作権侵害行為が横行していることを例にあげ，世界的に「著作権」が注目されていることを説明する。 ・ICT機器の発達により，人の著作物を簡単に複製できるようになり，著作権を意識する必要があることを説明する。	
3 著作権はなぜ必要か考える。 ・班で話し合い，他者の意見も交え，更に考えを深める。		著作権の必要性について考える ・著作権はなぜ必要なのかを班で考えさせる。 ・話し合い活動の中での発言やワークシートへ	意欲的に話し合い活動に参加している。【関】 (観察) B 話し合い活動に参加している。

 4 ネット上にあるマンガをコピーする行為について考える。 ・班で話し合い，他者の意見も交え，更に考えを深める 		の記入を取り上げ，数名に発表させる。 ・ワークシートへまとめを記入する際も，できるだけ生徒の表現を使って記入する。 ネット上のマンガ（画像）のコピーは合法か？ ・違法か合法かだけではなく，理由をしっかりと考えさせる。 ・話し合い活動の中での発言やワークシートへの記入を取り上げ，数名に発表させる。 ・ワークシートへまとめを記入する際も，できるだけ生徒の表現を使って記入させる。 ・司法判断がこういった発想から行われているか提示する。	A 著作者の立場に立った意見を発表するなど，話し合いを深めるような発言をしている。 身近に知的財産権があることに気づき，I C T 機器の発達によって問題が増えていることについて，表現している。 【思】 （ワークシートの記述） B 知的財産権があることに気付いている記述がある。 A 知的財産権に関わって，I C T 機器の特性を踏まえた記述がある。
5 本時のまとめをする。 ・授業を振り返り，著作権の知識と理解を深める。	8 分	・創作物には多くの場合著作権が存在することを押さえる。 ・機器の発達により，簡単に複製できる時代となり，著作者のことを考えた行動が求められることを押さえる。	